

沖縄の苦悩三つの言葉に

強権、再び

20年ぶり法廷闘争へ

①

知事の思い

「この言葉をいれられるだろうか」
知事が目を通したの、17日夕方の記者会見冒頭で読み上げる文書。こだわったのは二つのキーワード。一つは「強権」。もう一つは「強権」。

提起は午前8時半すぎ。提起は戦中戦後の強制収容を想起させる「銃剣とブルドーザー」。沖縄に基地を押し付け、政府の対応を「沖縄差別の顕れ」として「承認取り消しを違法」と決め付けられるいわれはない。キーフレーズを盛り込み、通常の倍近いA4用紙に込めた思いをにじませた。

基地負担の固定化拒否

代執行訴訟

名護市辺野古の新基地建設に伴う埋め立て承認取り消しを違法として、政府が翁長雄志知事を相手に起こした代執行訴訟で、県は18日、取り消しの正当性を説明する準備書面の作成に着手した。沖縄戦後の軍事占領や戦後の強制収容といった県内米軍基地の成り立ちをたどった上で、戦後70年間の過重負担に苦しむ沖縄で負担の固定化につながる新基地の受け入れはできないなどと主張する。また生活、自然環境への影響、政府の提出した訴状への反論など論点を整理する。

県、準備書面に着手

抑止力説明ない
自然環境損なう
取り消しは適法
「私人」矛盾追及

米軍運用触れるか焦点

名護市
辺野古の埋め立て承認取り消しをめぐる代執行訴訟で政府と県の「公益」をめぐる見解に大きな違いがある。政府が普天間飛行場を辺野古へ移設する理由、つまり埋め立てを必要とする理由に挙げる在沖米海兵隊



会見で厳しい表情を見せる翁長雄志知事＝17日午後、県庁

政府と県の1カ月間の集約を理由にすれば、沖縄に對しては何でもありか。地方自治体が持つ仕事や業務を国が代わりに行う「代執行」は非常に重い措置だ。法律を都合よく使っている、県内移設を促す政府、国全体の安全保障を考慮、不均衡な沖縄の負担、軽視される地方自治。知事が会見の度に指摘する数々の不条理は、直接訴えることもできない。国民にも正義を問いつけることになるだろう。

内容に陳述する。県は法律顧問の竹下勇夫弁護士、松永和宏弁護士ら弁護団5人で訴訟に臨む方針だ。準備書面では普天間飛行場を辺野古へ移設しなけれ

国主張法治行政の曲解

国土交通大臣は代執行に向け、沖縄県知事のした辺野古の埋め立て承認の取り消し処分を取り消しを求めた福岡高裁那覇支部に提訴した。1999年の地方自治法改正により、国と地方公共団体は対等な関係になった。代執行は、裁判所の関与と厳格な手続き要件により、国の恣意的な権限発動から地方の自主性・自立性が侵害されないように配慮された。知事に対して国の機関として委任された署名等代行事務の職務執行命令訴訟の最高裁判決(96年当時)とは事情が異なる。駐留軍用地の使用に供する土地の使用または取用の認定

識者評論

神谷延治氏

東京弁護士会沖縄問題対策部会員



権は内閣総理大臣の裁量に委ねられていた。他方、公有水面の埋め立て承認および同取消しについては、知事が裁量権を有する。もともと、事実に対する評価が明らかに合理性を欠くこと、判断の過程において考慮すべき事情を考慮しないこと等により、その内容が社会通念に照らして著しく妥当性を欠くものと認められる場合には、裁量権の逸脱・濫用として違法となる。その際、国と県の対等な関係に鑑み、知事は先行行為である埋め立て承認の無効または取り消し得べき瑕疵の有無について審査できるものと解される。

この点、国は比較考量量に依拠しつつ、「行政処分」の安定性・信頼性の確保の要請を強調し、授益的処分の取り消しは「侵害処分」の性質を有するとして「極めて例外的な場合に限定」すべき旨を主張する。

また、その考量は、日米関係および国際社会の信頼、経済的な不利益を重視する一方で、自然環境への影響、県等の過重な負担等の不利益を著しく軽視した結論ありきのものである。国は私人たる立場でした執行停止申し立ておよび同決定により違法に工事継続しているが、既に成事実の尊重」というのは、まさに都合のよい法治行政の曲解と言わざるを得ない。よれば、本件承認の判断過程

る審議を避けてきた。今回の代執行訴訟の訴状で、政府は抑止力などについて明記する一方、公有水面埋立法では国防上の適否を審査判断する権限を知事に与えておらず、埋め立て対象地を考慮すれば足りるとし、争点から外そうとしている。しかし、知事の承認取り消しを違法と提訴したのは

がと強調する。県は辺野古へ移設しなけり理由の一つとした抑止力や地理的優位性について具体的に説明しなけり必要は認められないという立場だ。準備書面などでは、むしろ県外へ移設してこそ機能や特性が大きく損なわれないなら、基地の集中する沖縄で負担の固定化につながる埋め立ての必要はなくなり、貴重な大浦湾の環境を守る方が、かえって「公益」は大きいと訴えとめられる。どちらの「公益」が上回るのか。その判断には、そもそも辺野古移設の必要があるのか、海兵隊の役割や運用を検証し、抑止力や地理的優位性の実態を把握することが求められる。(政経部・福元大輔)

記者のメモ

「粛々」に続く流行語は



○2015年の流行語大賞に自身の「粛々」である「粛々」がノミネートされた菅義偉官房長官。18日の会見で感想を聞かれ「コメントをするとなったらいろんな話題を呼びますんで」と苦笑し言及を避けた。辺野古新基地建設をめぐる「粛々」を進めることと繰り返したことを翁長雄志知事に「上から目線」と指摘され、以来自衛隊を続ける。だが、代執行訴訟に踏み切るなど新基地建設に向けた姿勢は強硬さを増す一方。最近の会見で強調する「行政の継続性」。来年の「ノミネート」も視野か。(東京)

県議会代表質問
来月3日開始へ
訴訟日程を考慮

環境保全策が不十分な点も取り上げる予定だ。石井啓一国土交通相が沖縄防衛局の立場を、行政不服審査法に基づき不服申し立てでは私人「地方自治法」に基づく代執行訴訟では「行政機関」として扱われることについて矛盾を追及する。また、石井国土交通相が知事の承認取り消しを取り消すための、行審法に基づき審査を進めているにもかかわらず「他は是正の手段がない」場合に限り認められる代執行訴訟を提起したことは違法とみて、準備書面への明記を調整している。

訴訟の取り下げ
工事停止求める
民主枝野氏

【東京】民主党の枝野幸男幹事長は18日の会見で、名護市辺野古の新基地建設をめぐる石井啓一国土交通相が起こした代執行訴訟について、「この問題を司法で解決しようという発想が間違っている」と述べ、政府に訴訟の取り下げと工事の停止を求めた。枝野氏は県も取り消しの効力を停止した石井国土交通相の決定を違法として抗告訴訟を検討していることに触れ、「訴訟合戦で泥沼化している」と表明。「県民の心情に寄り添うところから出発するべきだ」と政府の姿勢を批判した。

サイフにやさしい!!!

10年乗れる新車!! タントカスタム販売中!!

頭金・ボーナス 0円

金利 2.9%

夢・実現 10年払い

毎月 ¥17,500

タントカスタム RSストップエディションSAII

本体 ¥1,684,600

現金一括支払 ¥1,825,911

毎月 ¥15,300

タントカスタム X

本体 ¥1,463,200

現金一括支払 ¥1,596,011

ONIX オニクス 小乗パイクス

ナビウェブ

0120-870-509

那覇市高良 3-12-11

営業時間 9:00~19:00

毎週水曜日が定休日です! 土日祝日は営業中!

沖縄労働局委託 平成27年度 生涯現役社会実現環境整備事業

生涯設計セミナー+相談会

55歳から 安心・充実セカンドライフのために!

～「生涯現役」をめざして～ 早めに準備を始めましょう～

高齢者だけでなく若者が生涯現役をめざして、豊かに充実した生活が送れるように支援するセミナーです。年間を通して実施する事業です。

11/26 スペシャルセミナー+相談会

会場 沖縄県立博物館・美術館(講堂)

時間 13:00～17:00 定員200名

1部 **認知症にならないためにできること**

～笑いヨガで予防しよう～

プロフィール

講師 嘉数 世利子氏

2部 **これからの生き方働き方の賢い選択**

プロフィール

講師 園崎 浩明氏

●相談会 園崎 浩明氏・名城 志奈氏

要予約 ☎(098) 865-5270

琉球球新聞発行(座安・幸地・山城) 時間/平日(月～金)9:30～17:30

・55歳以上の方優先 ※本セミナーは、雇用保険の求職活動実績にはなりません。

大川栄策チャリティコンサート

チャリティコンサート

新曲 **男の縁起**

11月29日(日)

19時開演(18時30分開場)

夜8時開演(7時30分開場) 公演中止

会場 **宜野湾市民会館 大ホール** 全席自由

料金 チケットはお得な前売りで早め!

前売 3,800円 当日 4,500円

【販売所】

ギンワボンビル ☎098-898-3305

さくもと浦添店 ☎098-877-4123

さくもとコザ店 ☎098-933-4241

【後援】

琉球タイムス

琉球朝日放送 琉球ユニバーサルホーム

お楽しみ 予定していた夜の部の公演は中止となりました

チケットの払い戻し、変更は最前日の前売り券販売所または、当日コンサート会場で対応いたします。多大なご迷惑をおかけしお詫言申し上げます。お問い合わせは下記の伊波企画まで

主催 **伊波企画** TEL 090-5637-5308

【患者必携】地域の療養情報

おきなわ がんサポート

ハンドブック 2015 年版

県内の各医療機関で無料配布中!

このハンドブックは、患者さんの抱える心配や不安な思いに寄り添い、支える助けとなることを目指して作られました。

●がんのことについて相談したい

●同じ病気の方の話をきいてみたい

●医療費や経済的なことが心配

●セカンドオピニオンについて知りたい

●治療を続けながら働きたい

など、がん患者さんとご家族の療養を支える情報満載です!!

お問い合わせ 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

TEL 098-895-1368 mail@ryukyucc.jp

「沖縄県がん診療協議会HP」よりダウンロードもできます。

うちなあ～がんネットががんじゅう http://www.okican.jp